

COLUMNS

コラム

徒手療法講習会を開催して

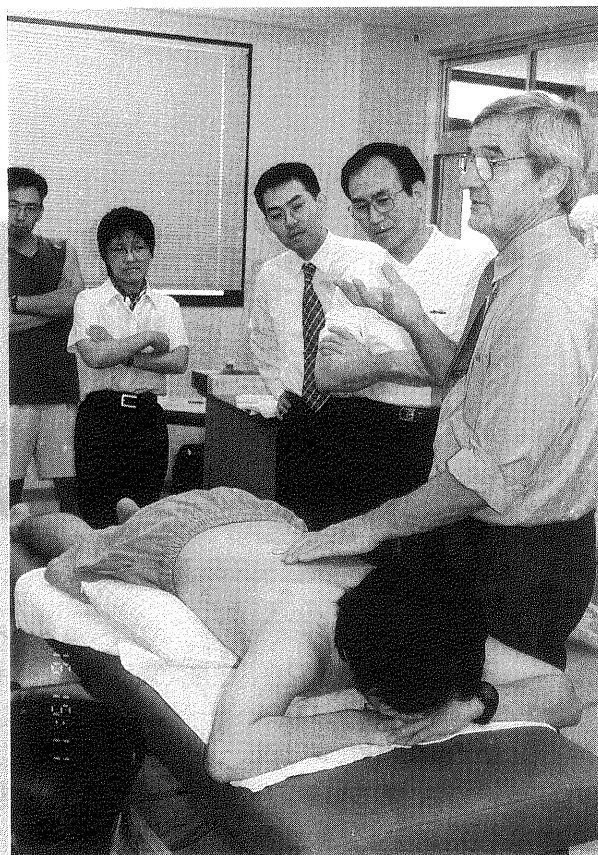
ー Stanley V. Paris 氏を招待してー

平成13年4月16日～21日にParis氏を米国より招待して浜松医療学院（静岡県）で徒手療法講習会を主催した。本邦において開催される4回目のS1（脊柱の評価と治療の基礎）講習会であったが、Paris氏が講習会の講師として来日するのは今回が初めてであった。

私が上級コースを含め、本講習会に大変興味を持っている主な理由は1) 現在証明されていること、証明されていないことを明確に述べることで、そして証明されている範囲内である現象の裏付けをすること、2) 評価重視のため、その患者・状態にあった治療・管理を選択することができ、1つの手技にこだわらないこと、そして対象があいまいにならないこと、3) 講師の豊富な臨床経験、である。

今回開催した講習会は基礎コースであり、脊柱の解剖・組織の生体力学、基礎的な評価・治療について学ぶことが出来る。今回の受講生の中には多くの経験を持っている人も参加していたため、基礎コースである本講習会が少し物足りないのではないかと危惧していたが、講習会終了後には予想以上の反響があり、“臨床面でどのように役立つのか理解できた” “知識で無理に裏付けするのではなく、証明されている範囲内で利用しているので大変分かりやすかった” という感想が目立った。さらにParis氏自身も日本人の真面目さ、熱心さには驚いて帰国された。

平成14年3月25日～30日に上級コースであるS2・S4（胸腰椎・骨盤）講習会開催を予定している。S2・S4講習会受講資格としてS1講習会を受講済みであることが必須であるが、日本では現在開催されていない。しかし、著者がS1公認インストラクターの資格を9月にとる予定であり、これを受講する予定であればS2・S4講習会登録が可能である。講習会の詳細な内容、その他の活動に関してはホームページ（www.hamakitajin.net/therapy/）を見て下さい。



右から Paris 先生、宮本先生（札幌医大）、
著者、高倉先生（アメリカ）

浜松医科大学附属病院 佐藤 友紀

INTERNATIONAL NEWS

国際ニュース

協力隊春募集の結果

平成13年春募集で行われた理学療法士は各国より20名の要請に対して15名の応募者数、最終的には5名の合格者に終わ

り、3か月の訓練を終えて中国、フィジー、ハンガリー、パオ、ニカラグアに派遣される。

尚、平成13年度秋の募集は10月15日より11月20日となっている。